

平成27年1月16日

風は東から

To be continued...

星稜高校が初優勝！！

2015の活動がスタートしました！！

新年あけましておめでとうございます！！

今年も東高サッカー部のサポート宜しくお願いいたします！！

2015年、明けましておめでとうございます！今年も宜しくお願いいたします！！

さて、新学期が始まり早いもので二週間が経過しました。学校の方も正月気分がやっと抜け通常の生活に戻りました。インフルエンザに罹る生徒が増え始め心配ではありますが…。

年末は「川崎カップ」と地区トップリーグ順位決定戦、フレッシュカップと連日ゲームが続きましたが最後までやりきることができました。新年は、早々の3日から一年生チームで「玉川上水カップ」に参戦し、6日からはチーム全体で活動をスタートしました。7日の小松川高校戦(下記の写真)を皮切りに、今年も土日はTRMをどんどん組んでいく予定です。今月から暫くの間、TRM相手は、関東大会都大会出場校等の強豪校や他県のチームが多く、しかも土日と連戦なので、かなり厳しい闘いになることは必至です。また、この冬の時期のTRは週一回の多摩ランと週二回の筋トレに加え、体育の授業の持久走と身体と心も徹底的に追い込まれます。これは、全て「春のインターハイ地区予選」そしてその先にある「夏の選手権予選」に結果を出すための最低ラインであり、必要不可欠なことです。東高サッカー部が高校サッカーのスタンダードに近づくための環境作りや子どもたちの意識を高めるためのアプローチを昨年度から行ってきました。その結果、子どもたちの成長がピッチ上だけではなくそれ以外の部分でも垣間見られるようになりました。

「冬に泣いて、春に笑おう！！」

「堅忍不拔」⇒ひとつの夢を実現するためにはその前にある壁(困難)を乗り越えること。

上記をチームのスローガンとして、今年の冬は厳しいTRやこちらの要望から逃げずに、子どもたちには強い意志と勇気を持って立ち向かい、各々の夢が実現できるよう日々精進し、心身共に成長して欲しいものです。何事も継続あるのみですね！



第93回選手権は星稜高校が延長で去年の雪辱を果たし初優勝！！

第93回全国高校サッカー選手権大会は、聖地：国立競技場の改修工事のため準決勝、決勝は「埼玉スタジアム 2002」にて行われました。決勝戦は、去年の雪辱に燃える星稜高校と準決勝で優勝候補の流通経済大柏高校を終了間際の起死回生の同点ゴールからPK戦の末破った前橋育英高校が進出。勝てばともに初優勝の掛かったこの闘いに、当日は46,000人(先日行われたナビスコ杯よりも多い)の観衆が集まりました。やはり、高校サッカーの注目度は凄い！！



<公式発表は46,316人！！ 高校生が大観衆の中でプレーするのは幸せなこと！>

去年は、富山第一高校にロスタイムに追いつかれ延長の末準優勝となった星稜高校。今年は雪辱に燃えていました。しかも、河崎監督が大会前の交通事故で入院されベンチには不在。何が何でも勝って河崎監督に優勝の報告をしたいところ。一方の前橋育英高校は、名将山田監督の下六度目の挑戦で掴んだ決勝への切符。群馬県勢初の優勝旗を持ち帰ることができるか？ともにU18日本代表候補の選手を擁し、この年代でもレベルの高い闘いが期待できる決勝戦は、注目度だけではなく序盤から見応え十分でした。立ち上がりからお互い速いプレスと激しい球際の攻防の中で、星稜が序盤に早くも先制。その後、前橋育英がやや優位にゲームを運ぶもののリアクションから星稜がチャンスを伺うという展開で前半は終了。後半早々には、立て続けに前橋育英がゴールを奪い逆転するものの星稜が追いつきゲームは二年連続延長戦へ。ここで、勝負を決めたのが星稜FWの森山選手だった。延長戦の苦しい時間になっても落ちない運動量で前線からボールを追いかけ回し、星稜の優勝を決める二得点を生み出しました。結局、決勝戦は4-2で、星稜高校が去年の雪辱を見事に果たし、全国4200校の頂点となりました。おめでとうございます！！



<第93回の選手権を制したのは去年の雪辱を果たした星稜高校だった。来年は…？>

春のインターハイ予選に向けて、新たな「目標」を立てTRスタート！！

春のインターハイ予選地区大会突破に向けて、新年早々からTRがスタートしています。この冬は「**F-Higashiのサッカースタイル**」の確立はもちろんのこと、そのベースとなる体づくりにも力を入れていきます。東高にはフィジカルトレーニングを専門的に指導できるコーチが三名いて、理論に基づいてトレーニングが行われています。東高サッカー部にとって、三名のフィジカルコーチは生命線となっています。現在は、学校にある器具（十分ではありませんが）や場所（柔道場も使用）を最大限に利用して、四月までの三か月間で強豪校との競り合いに對等に闘えるよう、子どもたちの身体を二周りくらい大きくしたいと思っています。もちろん、走り負けないようにランメニューもガッツリ入れていきます。



＜新井、宮崎、岡林氏3コーチによるフィジカルトレーニングは東高サッカー部の生命線である＞

新人戦敗戦後、子どもたちには「**新人戦を振り返る**」というシートを渡し、今大会の反省、今後の目標について書かせてきました。人は勝利を得たとき以上に敗戦から学ぶもの、得ることの方が多いものです。特に、今回は新チームとなって環境が大きく変わった中で迎えた公式戦。チームの中での立ち位置が違ったとしても、それぞれの立場で感じるものが大きかったと思います。そしてこの敗戦を真摯に受け止めることができた瞬間に人間は成長をしていきます。子どもたちが現状を把握し、「課題」に気づき、新たな「目標」を設定し、それに向かってTRしていく。今回の新人戦の敗戦は、東高サッカー部にとって大きな転換期になりそうです。

好きなサッカーだからこそ苦しいことも、厳しいことも頑張れる。子どもたちが成長するヒントやチャンスはグラウンドに落ちています。そして、毎日こう自問自答して欲しいものです。

「**今日、俺は、全力で手を抜かずに厳しいTRをやれたのか？**」と。

毎日の努力の差が、一年後、二年後に大きく出てきます。全てにおいてそういうものですよ？

<After the Game>

「**新人戦を振り返る**」プリントの提出率は、一年生（19／21）、二年生（9／18）でした。二年生も当初に比べて、サッカーを真摯に取り組めるようになりましたが、意識はまだまだです。ここは、本人の意識を変えるしかありません。期待して待ちましょう。

さて、来週月曜日から金曜日までの五日間は「**寒稽古**」と称した朝練を行います。一年のうちで一番寒いこの時期に、グラウンドでボールを蹴るために、朝早く睡魔と布団の誘惑に打ち勝つには、強い意志が必要です。まさに、自分を「試す」チャンスです！各御家庭の協力も必要ですが、ここは子どもたちに任せてみてください。お願いします！

尚、3月26日～28日（予定）に春の遠征試合（土浦フェスティバル）を計画しています。詳細は、通信にて追ってご連絡いたします。